平成 21 年度～23 年度　習志野市事務事業評価表

1．事務事業基本情報

事業名	№68　子どもの医療費等助成事業	担当課	子育て支援課	予算費目名	款	項	目
					3	2	1

事業概要及び目的	
	０歳から小学校就学前までの入通院、小学校６年生までの入院の保険診療にかかる子どもの医療費等を助成する。 子どもの医療費等を助成することにより、子どもの保健の向上を図るとともに保護者の経済的負担を軽減し、安心して出産・子育てができる環境を整える。

成果目標		
成果指標	乳幼児医療費等受給権交付件数	
計画値	１００％	

事業の位置づけ		
章	1	豊かな人間性と暖かさを育むまち
節	2	保健・医療・福祉環境の整備
項	3	高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉などの充実
号	3	子育ち・子育て支援施策の充実

★左記施策（号）との結び付き
子どもたちが健やかに生まれ、元気に成長していけるよう、子育て家庭における経済的な支援策のひとつとして、医療費の助成を行う。

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
予算額（単位：円）	296,337,338	323,007,000	329,607,000	329,456,000
決算額（単位：円）	285,405,387	266,563,378	311,470,609	
従事職員数	5	5	5	
従事延べ日数	598	598	598	

民間活力の導入
- 現状は？：□実現している　□将来可能性はある　□将来困難だが可能性はある　■余地なし
- 相手は？：□市民　□市民活動団体　□企業・学校等
- 形態は？：

2．進捗状況

21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価）　平成 21 年７月 10 日記入

実施計画上の予定	助成	実施計画の予定年度終了後	助成	★継続している事項、未着手事項がある理由
完了した事項	・乳幼児医療費等受給権の交付 ・平成 20 年８月診療分より、自己負担金を無料化 ・０歳から小学校就学前までの入通院に係る保険診療分の自己負担額を現物給付により助成 ・小学生の入院に係る保険診療分の自己負担額を償還払いにより助成			
継続している事項	・ ・ ・			
未着手事項	・ ・ ・			
改善案		成果指標 実績値 9,210 件	達成率 99.3%	

22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価）　平成 22 年６月９日記入

実施計画上の予定	助成	実施計画の予定年度終了後	助成	★継続している事項、未着手事項がある理由
完了した事項	・乳幼児医療費等受給券の交付 ・平成 20 年８月診療分より、自己負担金を無料化 ・０歳から小学校就学前までの入通院に係る保険診療分の自己負担額を現物給付により助成 ・小学生の入院に係る保険診療分の自己負担額を償還払いにより助成			
継続している事項	・ ・ ・			
未着手事項	・ ・ ・			
改善案		成果指標 実績値 10,390 件	達成率 99.7%	

23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価）　平成 22 年４月 21 日記入

実施計画上の予定	助成	実施計画の予定年度終了後	助成	★継続している事項、未着手事項がある理由
完了した事項	・子ども児医療費助成受給券の交付 ・平成 22 年 12 月より、通院にかかる医療費について小学校 ３年生までに拡大、また市民税所得割課税世帯については自己負担金として 300 円を設定 ・０歳から小学校３年生までの入通院について現物給付により助成 ・小学校４～６年生の入院については、償還払いにより助成			
継続している事項	・ ・ ・			
未着手事項	・ ・ ・			
改善案		成果指標 実績値 14,625 件	達成率 97.5%	

3．今後の方向性　※課内協議を経て管理職が記入してください。

今後の方向性

＊根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。

平成 21 年７月 15 日協議実施

成果の方向性＼コストの方向性	休廃止	縮小	現状維持	拡充
拡充				
現状維持			○	
縮小				
休廃止				

★上記を選択した根拠
対象年齢の拡大や医療費負担の軽減などの市民ニーズがあるが、財政的な負担が大きく、成果・コスト共に現状維持とする。

方向性を実現するため実施すること（改革案）
今年度については、成果・コスト共に現状維持としたが、平成２２年度より千葉県が小学校３年生（入通院）まで対象年齢を拡大する予定があり、制度拡大に向け、小学生の現物給付化の取組み、自己負担金・所得制限の導入について検討する。

前年度改革案の実施状況
□実施　□一部実施　■検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。
千葉県市長会を通じ、対象年齢の拡大及び小学生の現物給付化の取組みについて千葉県に要望した。

平成 22 年６月９日協議実施

成果の方向性＼コストの方向性	休廃止	縮小	現状維持	拡充
拡充			○	
現状維持				
縮小				
休廃止				

★上記を選択した根拠
通院に係る医療費の助成対象を小学校３年生までに拡大を図る一方で、コスト面については、課税状況に応じた自己負担金（通院１回又は入院１日）３００円を新設することで、コストが増大しないように対応を図る

方向性を実現するため実施すること（改革案）
平成２２年第１回定例会で条例改正を実施。平成２２年１２月実施に向け、市民及び各関係機関への案内・制度周知を行う。

前年度改革案の実施状況
■実施　□一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。

平成 23 年４月 21 日協議実施

成果の方向性＼コストの方向性	休廃止	縮小	現状維持	拡充
拡充				
現状維持			○	
縮小				
休廃止				

★上記を選択した根拠
平成２２年１２月に制度改正を実施した事から、その実施状況等を検証し、さらなる制度拡大についての検討を行う。

方向性を実現するため実施すること（改革案）
平成２２年１２月に制度改正を実施した事から、その実施状況等を検証するとともに、千葉県や他市の動向を注視し、さらなる制度拡大等（対象年齢拡大、所得制限導入等）に向けた検討を行う。

前年度改革案の実施状況
■実施　□一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。